

# 【国語（読む領域）・中2・「クマゼミ増加の原因を探る」】①

## 育成を目指す資質・能力

(知識及び技能) 話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。(1)オ  
(思、判、表等) 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えることができる。C(1)ア  
(学びに向かう力、等) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

## ICT活用のポイント

・授業において、本時の解決に必要な時間を確保し、より深い読解につなげるため、配信された動画を視聴し、家庭学習で自分の考えをもった上で授業に臨めるようにする。

### 【つかむ】

単元の課題を共有し、学習の見通しをもつ。

筆者が工夫した構成の工夫をとらえ、仮説を提示することの理由について話し合おう。

### 【追究する】

文章構成や文章と図表との関係に着目して、読み取る。

### 【まとめる】

仮説を提示した順番に着目して、筆者の構成の工夫について話し合う。

## 事例の概要（本時は全4時間中の3時）

- 授業の終末の場面で、次時の学習課題や解決のための手立てを提示する。
- 家庭で、動画教材などを参考に自分の考えをまとめられるよう、次時の課題解決に向けた個でできる学習を提示する。（予習型）

### 【事例におけるICT活用の場面①】

- 前時の学習の終末場面につかんだ課題内容や参考にする動画等について、家庭でも確認できるよう端末の連絡機能を活用する。

### 【事例におけるICT活用の場面②】

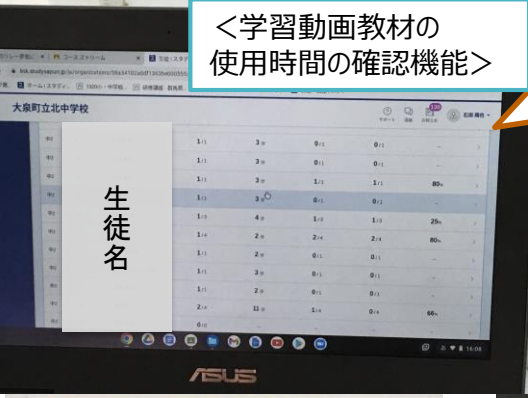
- 次時の学習に関する動画教材を紹介し、家庭で個別追究する場面でのヒントにしたり、ノートにまとめた内容を自分で確認したりして次時に臨めるよう、家庭に持ち帰った1人1台端末を活用する。

### 【事例におけるICT活用の場面③】

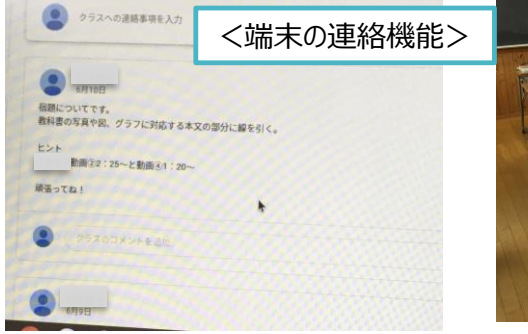
- 欠席した生徒への学びの保障として、オンラインで接続し授業を配信している。

# 【国語（読む領域）・中2・「クマゼミ増加の原因を探る」】②

## 【事例におけるICT活用の場面①②】



前時の終末に家庭での課題に関係する動画を紹介した。家庭での動画視聴時間を確認できる。



全4時間単元の2～4時間目について、予習型の家庭学習に取り組んだ。

第3時では本時の課題「それぞれの図やグラフは何のためにあるのか」の解決に向けて取り組む中で、家庭で取り組んだ「表やグラフに関する文章に線を引いてくること」を生かし学習を展開した。表やグラフを提示した「筆者の意図」について、記述を基に話し合う中で、生徒が「比較、根拠、補足、整理、イメージの提示」などに整理することができた。



図、グラフと対応する文章を家庭で確認しているため、本時の中心の課題である「筆者の意図」を話し合う場面や、まとめの時間が充実する。

## 【事例におけるICT活用の場面③】



授業中、教師用端末を通して、教室の様子を配信している。生徒は欠席中にも、授業内容を把握できる。

オンライン会議システムを活用し、欠席者に授業の様子をリアルタイムで配信している。教師用端末から呼びかけ、生徒の学校への所属意識を高めている。また、家庭でも動画教材を活用し、本時の復習を行える

- 【活用したソフトや機能】
- ・学習動画教材
  - ・オンライン会議システム

# 1. 単元名 「クマゼミ増加の原因を探る」

## 2. 単元の目標

文章の構成や展開について、理解を深める。

## 3. 単元の学習計画

本時のめあて	時	学習内容	家庭学習計画	
文章を通読し、文章全体に関わる問題提起と大きな仮説を捉える。	1	①本時の目標を確認する。 文章を通読し、分かったことや感じたこと、疑問点をノートに書き、発表する。 ②文章の構成を大まかに確認する。 ③「研究のきっかけ」に示された「問題提起」と「大きな仮説」を理解する。 ④次時の学習の確認をする。 「次回は全体の構成二つについて考えるよ。」		
全体と部分の関係に注意して、構成を捉える。	2	①六つの部分の役割と関係をつかんで、全体の構成を考える。(集団) ②「前提」に書かれた内容を理解する。 ③筆者が、「前提」を、三つの仮説の前に置いた理由を考える ④次時の学習について確認する。 「次回は何で文章だけではなく、図やグラフがあるのかについて考えるよ。」	全体の構成を考えるため、「前提」、「仮説1～3」それぞれを1行程度で要約してくる。 <「クマゼミ」の動画④を参考>	予
文章と図表の関係を捉え、図表の効果について考える。 <本時>	3	①仮説1～3の内容を理解する。 ②文章中のグラフや模式図、写真などが何のために示されたものかを、対応する文章との関係を基に考える。 ③次時の学習について確認する。 「否定された仮説を挙げた理由と、三つの仮説をこの順序で挙げた理由を考えるよ。」	グラフを使うことでどのような効果があるかについて考えるために、グラフと対応する主張の部分に赤線を引いてくる。 <動画②2：25～と 動画④1：20～を参考>	予
文章の構成や展開についての自分の考えをもつ。	4	①三つの仮説について、の学習内容を確認する。 ②「まとめ」の内容を理解する。 ③大きな仮説は証明されたといえるか、自分の考えをもつ。 ④否定された仮説を挙げた理由と、三つの仮説をこの順序で挙げた理由を考える。(集団) 「本当にそうになっているか」根拠を探す活動。 ⑤学習を振り返る。	否定された仮説を挙げた理由と、三つの仮説をこの順序で挙げた理由を考えるために、「まとめ」の内容を1行程度で要約してくる。 <動画④2：30～・4：10～を参照>	予